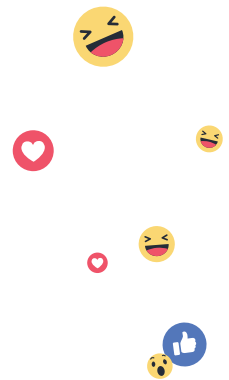


インターネット利用において自らの身を守るために
～スマホ時代の利用者へ～

Facebookにおける取り組み



本日は、Facebook社（以下、弊社）が安全についてどのように考えているか、そして取り組んでいるかをご紹介します。



コミュニティづくりを応援し、
人と人がより身近になる世界を実現する

まず弊社についてご紹介させていただきます。

弊社は「コミュニティづくりを応援し、人と人がより身近になる世界を実現する」ことをミッションに掲げており、これからご紹介する安全に関する機能・取り組みも含め、全ての製品開発や活動はこのミッションに沿って実施されています。

2,360,000,000人以上

全世界で1日1回以上 Facebook、WhatsApp、
Messenger、Instagramをご利用いただいている人数



弊社の代表的な製品であるFacebook、Instagram、Messenger、WhatsAppは世界中の約24億人の方に毎日利用いただいています。

この数からもお分かりいただける通り、Facebookのコミュニティ規模は非常に大きく、膨大な量のコンテンツが毎日投稿されています。



それでは、本題のFacebookの安全な利用についてお話しします。弊社では安全に、安心してご利用いただくために、5つのアプローチを取っています。

1つ目はポリシーです。利用者がシェアできるもの、シェアできないものを定めています。弊社ではこうしたルールをコミュニティ規定と呼んでいます。

2つ目はツールです。表示されるコンテンツや他人に表示される自分の情報を利用者が自らコントロールするためのツールや、有害なコンテンツを報告するためのツールを開発しています。

3つ目はリソースです。利用者が自分の安全を確保する必要があると感じたときに、どこからでもヘルプやリソースにアクセスできるようにしています。

4つ目はパートナーシップです。安全に関する専門家、学術研究者、NPO、人権活動家、政策立案者などから専門的な助言を得るなど、様々なご協力のもと、ポリシーの策定、ツールの開発、安全のためのリソースやプログラムの作成を行っています。

5つ目はフィードバックです。ポリシー、ツール、サービスを常に改善するため当社にとって最も大事なものは、ご利用者の皆さま、つまりFacebookコミュニティからのご意見・ご感想であると考えます。

今回はこのうち、「ポリシー」と「ツール」をご紹介します。



ポリシー

はじめにポリシーについてお話しします。24億人以上の利用者の方が国境、信仰、文化を超えて交流しているFacebookコミュニティでは、グローバル規模のポリシー/ルールを策定する必要があります。

コミュニティ 規定

コミュニティ 規定をはじめとする関連ポリシーは、誰もが自由に自己表現でき、かつ安心して利用できるFacebookの環境を維持するためのものです。



多様性に富んだコミュニティにおいて自由に自己表現できる場所であることと、すべての人が安心して快適に利用できる環境であることのバランスをとることは非常に難しいことです。そのため、Facebookのポリシーである「コミュニティ 規定」は多様な状況に適用できる原則に基づいて策定されています。

またポリシーの運用性を確保するため、Facebookでは実際の状況にポリシーを適用し、コミュニティの皆さまにとって安全を確保するために必要な改善を継続的に講じていく方法をとっています。

ポリシーは説明可能である必要もあります。ポリシーをわかりやすく簡潔に説明するよう最大限努めています。

ポリシーの適用対象



- ・ 直接的な脅迫
- ・ 自傷行為
- ・ 攻撃的な集団
- ・ 性的嫌がらせ
- ・ いじめ/嫌がらせ



- ・ 性的暴力
- ・ 子どもの搾取
- ・ 実名の使用
- ・ なりすまし
- ・ 偽アカウント



- ・ 宣伝スパム
- ・ 個人情報窃盗
- ・ 不正アクセスされたアカウント
- ・ 亡くなった方
- ・ 金融詐欺



- ・ テロ
- ・ ヘイトスピーチ
- ・ 過度な暴力描写
- ・ 不快なユーモア
- ・ 無責任な言動

コミュニティ規定ではさまざまな事項が取り上げられています。

安全に関する重要なポリシー

- ・ なりすまし(偽名の使用)
- ・ 過度な暴力描写
- ・ ヌード
- ・ 公にしたくない画像の同意なき公開
- ・ 児童性的搾取を描写した画像
- ・ 人身売買
- ・ いじめ



安全に関して、特に重要なポリシーの事項についてご説明します。

なりすまし(または偽名の使用)。実名を使用する利用者はオンラインで不適切な行動をする可能性が低いことがわかっています。

過度な暴力描写。加虐嗜好を満たす目的、または暴力を賞讃し美化する目的でシェアされているコンテンツは削除されます。

ヌード。18歳未満のFacebook利用者、および文化の多様性に配慮し、ヌードや性的に露骨な内容を制限しています。

公にしたくない画像の同意なき公開/性的嫌がらせ。2012年以降、Facebookではこれらの行為を禁止しています。

児童性的搾取を描写した画像。いかなる状況においても児童性的搾取を描写した画像は禁止されています。

人身売買。人身売買に携わっている個人または組織は、Facebook上で活動することを認めません。

最後にいじめです。Facebookはいじめや嫌がらせを許容していません。



ツール

次はツールについてご説明します。



利用者の方がご自分で 管理できるように

Facebookは利用者の皆さまが自ら利用環境を管理できるように設計されたプラットフォームです。

Facebookでは、シェアするコンテンツ、
表示されるコンテンツ、自分に連絡できる人、
シェアする相手などを設定できます。

弊社は利用者の方がご自分でFacebook体験を管理できるようにツールを作成してきました。



セキュリティ

セキュリティの
確認、セキュリティ
設定の基本事項



プライバシー

シェアする
コンテンツとその
相手を選択



安全

交流したくない
ユーザーをブロック、
有害なコンテンツを
簡単に報告



メンタルヘルス

有意義な社会的
交流をサポート

こうしたツールを通じ、利用者のセキュリティ、プライバシー、安全、メンタルヘルスをサポートしたいと考えています。

規定違反の検出



ユーザーの報告

専門チーム

検出技術

安全を確保する取り組みの一環として、Facebookは利用者が投稿、コメント、写真、動画などのコンテンツを報告できるようにしています。利用者による報告はコミュニティ規定違反の可能性を検知するうえで重要な役割を果たしています。

チームは報告の内容を確認し、該当するコンテンツがFacebookコミュニティ規定に違反している場合は削除します。

過去数年間、機械学習、AI、コンピュータービジョンといったテクノロジーを積極的に活用して、Facebook上の悪質なコンテンツ拡散を防止しています。

これらの新しいテクノロジーを通じ、悪質なコンテンツを人間よりもすばやく、また利用者に報告される前に、検出することができます。

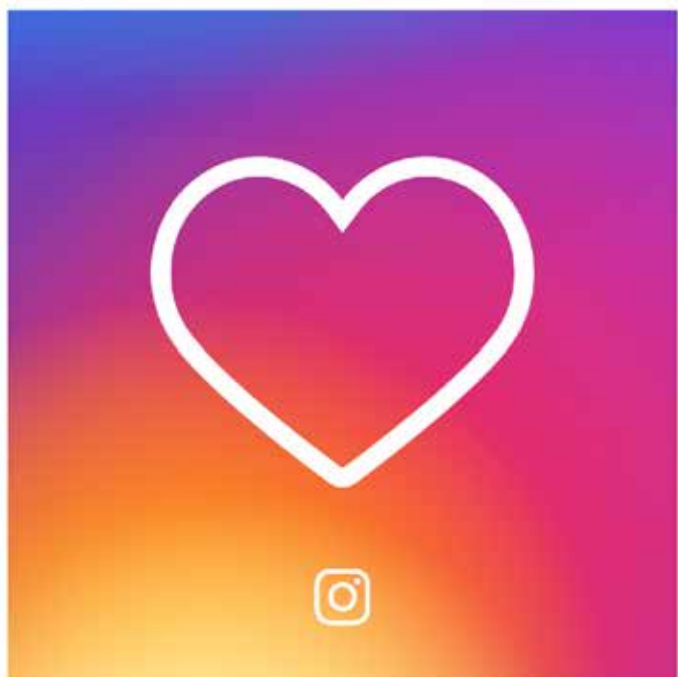
安全に関するツール

- ▶ ブロック
- ▶ 報告
- ▶ コミュニティによる報告



ご覧のとおり、安全に利用していただくためのツールはモバイルでもご利用いただけます。非常に簡単に利用者をブロックしたり、不適切なコンテンツを報告したりできます。

Instagramを
安全に使用するためのツール



ここからはInstagramについてお話しさせていただきます。
特にコメント欄を安全に保つ方法についてご説明いたします。

ご存知のようにコメントはフォロワーの方とやりとりをしたりできる場所ですが、時には思いもよらないコメントがついてしまうこともあるかもしれません。

コメント欄を安全に保つために
コメントできる利用者を設定



「コメント許可の対象」をタップ



誰がコメントをできるか設定



コメントをブロックする相手を選択

Instagramでは、詳細にコメントの設定ができ、フォロワーのみがコメントできるようにしたり、ある特定の人のコメントをブロックすることもできます。

コメントの設定は、「設定」をクリックし「プライバシー設定」、そして「コメント」の項目へ進むことで確認ができます。

コメント欄を安全に保つために

フィード投稿のコメントをOFFに設定



フィード投稿の画面より「詳細設定」を選択



「コメントをオフにする」を設定

また、コメントをオフにすることもできます。

「詳細設定」を使用して「コメントをオフにする」を選択するか、投稿後いつでも「…」メニューをタップしてコメントをオフまたはオンにすることができます。

コメント欄を安全に保つために

特定のコメント 削除・報告する



特定のコメントを削除したり、Instagramに報告することもできます。

不要なコメントが表示された場合は、そのコメントを左にスワイプするだけで削除できます。また、不適切なコンテンツとして報告することもできます。

左にスワイプすると報告オプションが出てきます。報告が来ると、レビューチームが確認し、Instagramのポリシーに反すると判断されたコメントは削除されます。

オーディエンスを管理する

アカウントをブロック、フォローを外す & ストーリーズを非表示に



「...」をタップし「ブロック」を選択



「...」をタップしフォロワーを削除



ストーリーコントロールから「表示しない人」を選択

次に、自分自身のコンテンツを誰に見せるかに関する機能をご説明します。コンテンツをブロックまたは非表示にするユーザーのプロフィールをタップすると、これらの機能が見つかります。

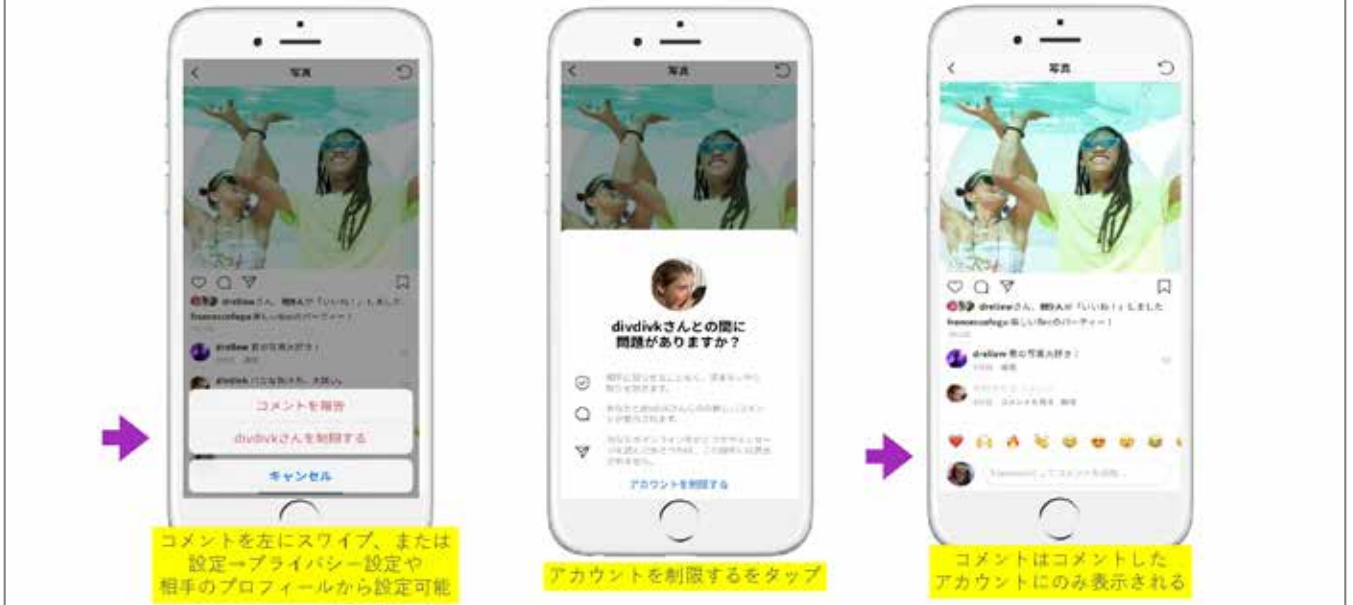
非公開アカウントからフォロワーを削除し、コンテンツを他人に見られたくない場合は、フォロワーのリストに移動し、その人の名前の横にあるメニューをタップして削除できます。あなたがフォロワーとしてそれらを削除したことは通知されません。

誰かをブロックするには、プロフィールの...メニューをタップし、[ユーザーをブロック]をタップします。その人はあなたの写真/ビデオを表示したり、Instagramプロフィールを検索したりできなくなります。あなたがそれらをブロックしても、その人には通知されません。

何らかの理由で、あなたのストーリーを見せたくない場合は、ストーリーを特定の人から見えないよう、非表示にすることもできます。

望まないやりとりからアカウントを保護する

制限機能でアカウントを保護



「制限」機能は、ブロックをせずに一部のやり取りを制限することができる機能です。

「制限」を有効にすると、指定したアカウントが自分の投稿に対して追加するコメントはそのアカウントにのみ表示されるようになります。

特定のアカウントを「制限」したいときは、コメントを左にスワイプします。

または、[設定]の[プライバシー設定]や相手のプロフィールからでも直接設定が可能です。

「コメントを見る」をタップして制限したアカウントからのコメントを確認したり、承認して他の利用者に表示することができます。

もちろんコメントを削除したり、承認せず無視したりすることも可能です。

制限したアカウントからコメントがあっても、通知は届きません。制限したアカウントからのダイレクトメッセージは自動的にメッセージリクエストに移動され、通知は届きません。メッセージを見たい場合は読むことができますが、既読になったことや自分がInstagram上でオンラインであることは相手に表示されません。

オーディエンスを管理する

親しい友達リストで、特定アカウントにストーリーを表示



「...」をタップし
「親しい友達リスト」を選択



追加するアカウントを選択して
完了をタップ



画面下部に表示される
緑色のアイコンをタップ

親しい友達リストを作成し、限られた人のみに自分のストーリーを表示することもできます。

問題を抱えている方へのサポート

メッセージの表示、匿名の報告ツール



辛い気持ちを表す
単語やタグを検索すると
ポップアップを表示



匿名で報告されると
当事者に表示されるポップアップ



当事者に役立つ情報を表示

Instagram上で誰かが辛いと言っている投稿を見かけられ、命の危険が迫っているような場合は、警察等に連絡いただくことをお勧めします。

Instagramでは、困っている友人に連絡したり、その人をサポートする方法に関する情報を参照したり、問題のあるコンテンツを報告したりする機能を提供しています。

自殺に関連するキーワードを検索すると、ポップアップが表示されます。日本では、厚生労働省様、日本いのちの電話連盟様と東京自殺防止センター様、TELL様と連携し、相談窓口の情報が表示されるようになっていきます。

安全に利用するためのリソース

保護者のためのInstagramガイド



Instagramでは、日本でのセーフティパートナーNPOの皆様の協力を得て、保護者の方向けに安全に関する機能や取り組みについてまとめた「保護者のためのInstagramガイド」を公表しています。このガイドは、どなたでもInstagramのヘルプセンターからアクセスし、ご確認いただけます。

安全に利用するためのリソース

みんなのためのInstagramガイド



また、昨年にはセーフティーパートナー団体である特定非営利活動法人キッズドア様と認定NPO法人カタリバ様のご協力を得て、中学生・高校生とInstagramの安全な利用方法について共にアイデアを考えるワークショップを開催し、その意見を元に「みんなのためのInstagramガイド」を作成しました。

ガイドは東京原宿竹下通りでも配布され、今年2月11日のセーフティーインターネットデーの週には原宿駅構内に安全に関する機能の啓発を目的としてポスター掲示しました。

パートナーシップを通じた普及啓発の取り組み



若年層の利用者と一緒に安全な使い方について考えるプロジェクト

若年層の支持を集めるクリエイターと共に、実際に体験したこと・困っていることなどを互いに共有し、その対応策について話し合うANZENカイギの実施や啓発コンテンツを共同制作、クリエイターを通じ発信

2020年3月には、若年層の方に、安全に使用するための機能や、使い方について理解を深めていただくことを目的として、UUUM株式会社様と連携し「インスタANZENカイギ」という取り組みを開始しました。

若年層にも広いリーチを持つUUUMに所属するクリエイターと定期的なワークショップを実施し、普及啓発のための活動を進めていく予定です。

セーフティパートナー
団体との連携



弊社は世界各国、各地で多様なコミュニティを保護するため、専門家やNGOと協力関係にあります。日本でもこれまでご紹介した通り、青少年の教育支援や子どもの貧困、自殺防止対策等に取り組む各分野のセーフティパートナーNPOの皆さまと連携させていただいております。

ありがとうございました

Facebookにとってご利用者の皆様の安全確保は最優先事項です。
これからも皆様からのフィードバックをいただきながら、改善していくことができると考えています。